

# 2020 学習指導要領

新学習指導要領は、「問題解決学習」「生きる力」の理解と実現がなされていないので、言い方を変えて実現のために取り組ませようとする意図を感じる。新しい教育改革ではない。

## 総説

### 1. 改定の経緯

- ①「何ができるようになるか」（育成を目指す資質・能力）
- ②「何を学ぶか」  
（教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成）
- ③「どのように学ぶか」（各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実）
- ④「子供一人一人の発達をどのように支援するか」（子どもの発達を踏まえた指導）
- ⑤「何が身についたか」（学習評価の充実）
- ⑥「実施するために何が必要か」（学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策）

※問題解決学習のねらいと同じ。

### 2. 改定の基本方針

#### ①基本的な考え

- ・子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指す。
- ・知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスの重視。
- ・知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成する。
- ・豊かな心や健やかな体を育成する。（道徳・体験活動・体育・保健）

※問題解決学習と二層構造

#### ②育成を目指す資質・能力の明確化

- ・どのように社会や人生をよりよいものにしていくかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身につけられるようにすることが重要。
  1. 生きて働く**知識・技能**：何を理解しているか、何ができるか。
  2. 未知の状況にも対応できる**思考力・判断力・表現力**  
理解していること・できることをどう使うか。
  3. 学びを人生や社会に活かそうとする**学びに向かう力・人間性**  
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

※二層構造→生きる力

#### ③「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

- ・通常行われている学習活動の質の向上  
言語活動・観察・実験・問題解決的な学習
- ・授業の中で
  - 子供たちが学習を見通し振り返る場面
  - 子供たちが対話する場面
  - 子供たちが考える場面
  - 教員が教える場面
- ・見方や考え方の重視
- ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得

※問題解決学習そのもの

#### ④各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進

#### ⑤教育内容の主な改善事項

## 算数

### 1. 算数科の改定の要点

- ・ 数学的活動の充実
- ・ 統計的な内容等の改善・充実

### 2. 算数科の目標における3つの柱

#### ①知識・技能

- ・ 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身につける。

#### ②思考力・判断力・表現力等

- ・ 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力

#### ③学びに向かう力・人間性等

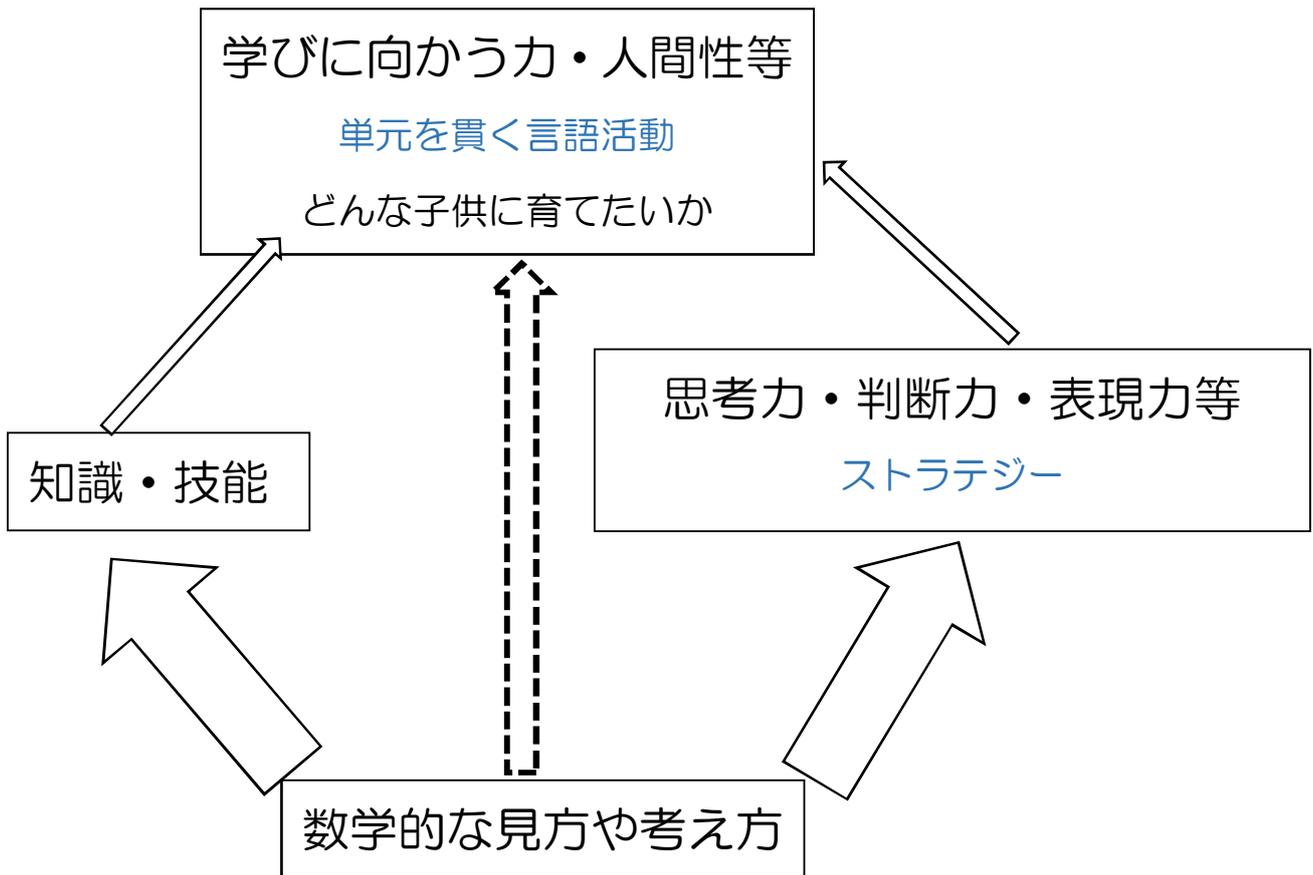
- ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度

### 3. 算数科の学習における「数学的な見方・考え方」

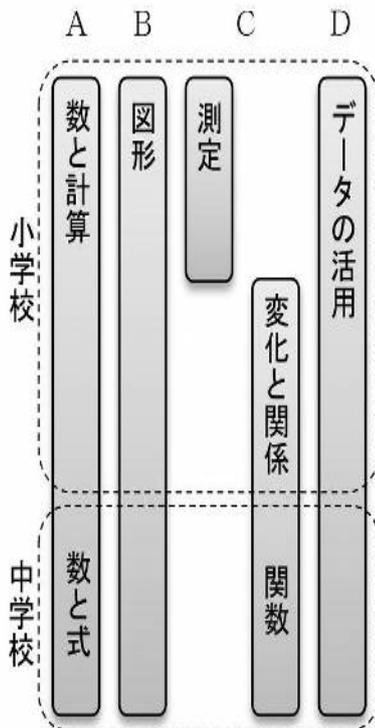
- ・ 数学的な見方・考え方とは、  
事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠をもとに筋道を立てて考え、総合的・発展的に考えること。
- ・ 「数学的な見方・考え方」を働かせながら  
知識及び技能を習得したり  
習得した知識及び技能を活用して探究したりすることにより  
生きて働く知識となり  
技能の習熟・熟達にもつながるとともに  
より広い領域や複雑な事象について、思考・判断・表現できる力が育成され  
「数学的な見方や考え方」が更に豊かで確かなものになっていく。  
「数学的な見方や考え方」を通して、  
社会や世界にどのように関わっていくかが大きく作用している。  
これが、「学びに向かう力・人間性等」との関わりである。
- ・ 数学的な見方・考え方は、①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等のすべてに働くものである。

### 4. 学びに向かう力・人間性等

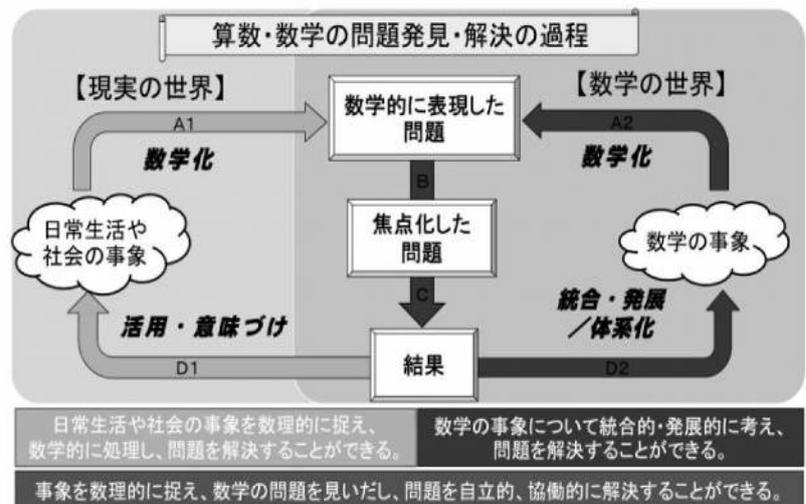
- ・ 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度。
- ・ 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度
- ・ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度。



☆ストラテジー：技能を含んだ数学的な考え方



(下図) 算数・数学の問題発見・解決の過程 (算数・数学ワーキンググループ資料から引用)



※各場面で、言語活動を充実  
 ※これらの過程は、自立的に、時に協働的に行い、それぞれに主体的に取り組めるようにする。  
 ※それぞれの過程を振り返り、評価・改善することができるようにする。